

【テーマ】「追加の知恵」―②知恵ある受け答え―

先週から、箴言の4つ目の格言集である「知者の更なる言葉」を学び始めました。

【聖書のみ言葉】 箴言 24:26 を読みましょう。

【テキストの解説】

もし率直に答えるならば、その結果、答えを求めた人は口づけをもってあなたへの愛と献身を表すでしょう。だから、ねじ曲げた受け答えではなく、率直な受け答えをすることによって、自分の上司や同僚、伴侶や家族などへの愛情と献身を表現しなさい。

- ・ 「率直」は幾何学的な「まっすぐ」を意味します。その類語は「高貴、公正、真実、正しい、当然」などであり、その対語は「不義、ねじれたこと、曲がったこと」などです(箴言 8:6-9)。
- ・ 「口づけ」とは両者の間にある愛情と一致の強い絆を表すものです。口づけは、今日では挨拶や愛情表現としてなされますが、旧約時代には、おそらく近い親戚や献身的な友、忠誠的な僕などとの関係において、互いの親密さや献身、愛を表現する方法としてなされていました。
- ・ ここでの「口づけ」は答えを求めた者を喩えているとも言えます。答えた者による率直な言葉は、答えを求めた者にとって、口づけをしているように満足するものなのです。

【適用】

「結婚生活で大切なことは、一にコミュニケーション、二にコミュニケーション、三にコミュニケーション」とはよく言われます。そして、コミュニケーションで大切なことの一つは率直に受け答えすることです。それは結婚関係に限らず、私たちのその他の人間関係においても大切なことです。自己中心的な私たちは、プライドや保身から、ねじ曲げて受け答えをしてしまうこともあるかもしれませんが、しかし、率直な受け答えは相手との親密さを深めます。互いに愛をもって率直に受け答えすることができるように主に寄り頼んでいきましょう(エペソ 4:15)。また、主との関係においても率直に祈りましょう。

【祈り】 下記の祈りの課題を覚えて祈りましょう。その他にも個人的な祈りの課題がありましたら、祈りましょう。